

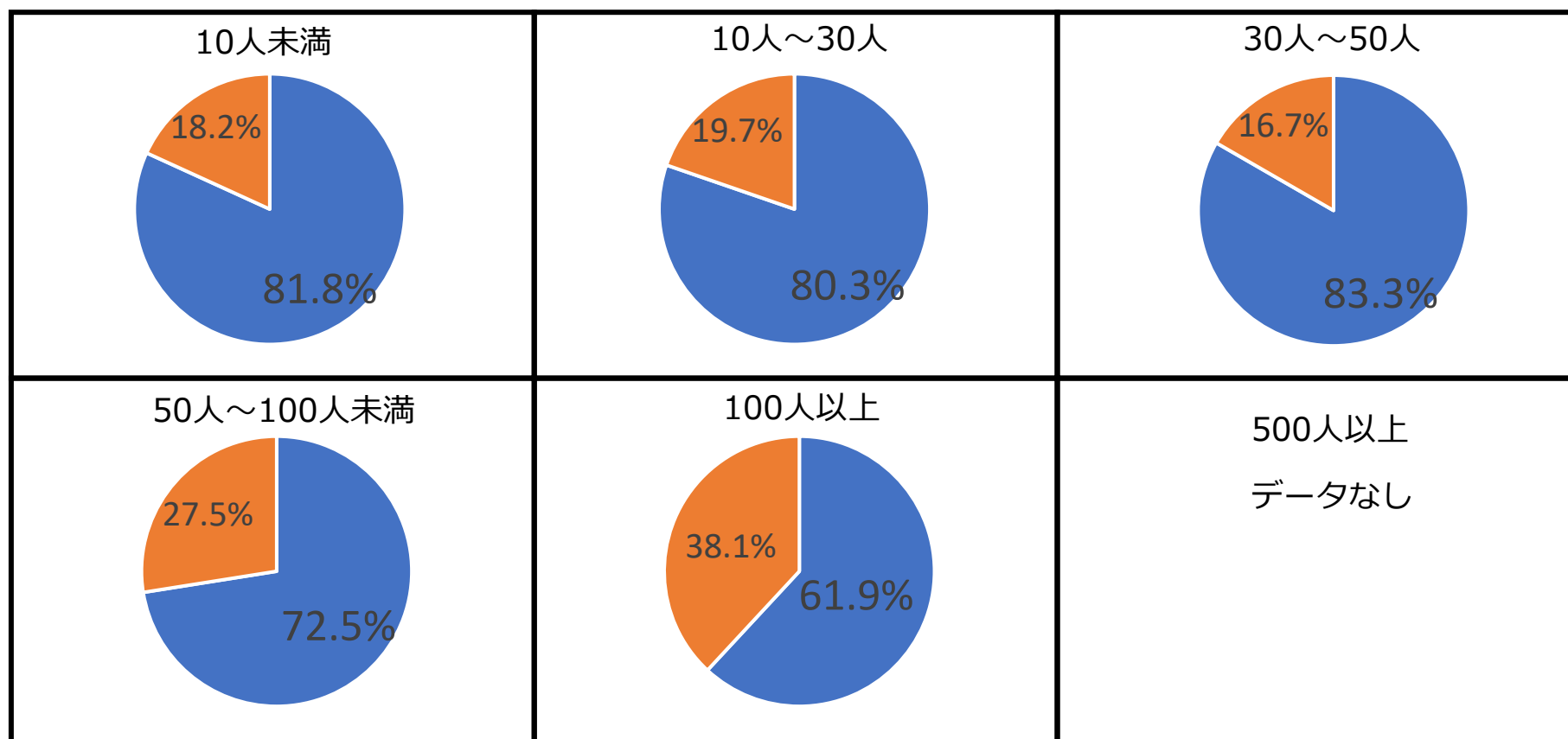
陸上貨物運送事業における労働災害発生状況

荷役作業における安全確保対策の実施状況に関する調査表（平成30年10月1日から平成31年3月31日まで）

死傷病報告データと組み合わせた分析

事業場規模別

事故の型（墜落、転落）354件 × 保護帽（着用, 未着用）



■ 保護帽（着用） ■ 保護帽（未着用）

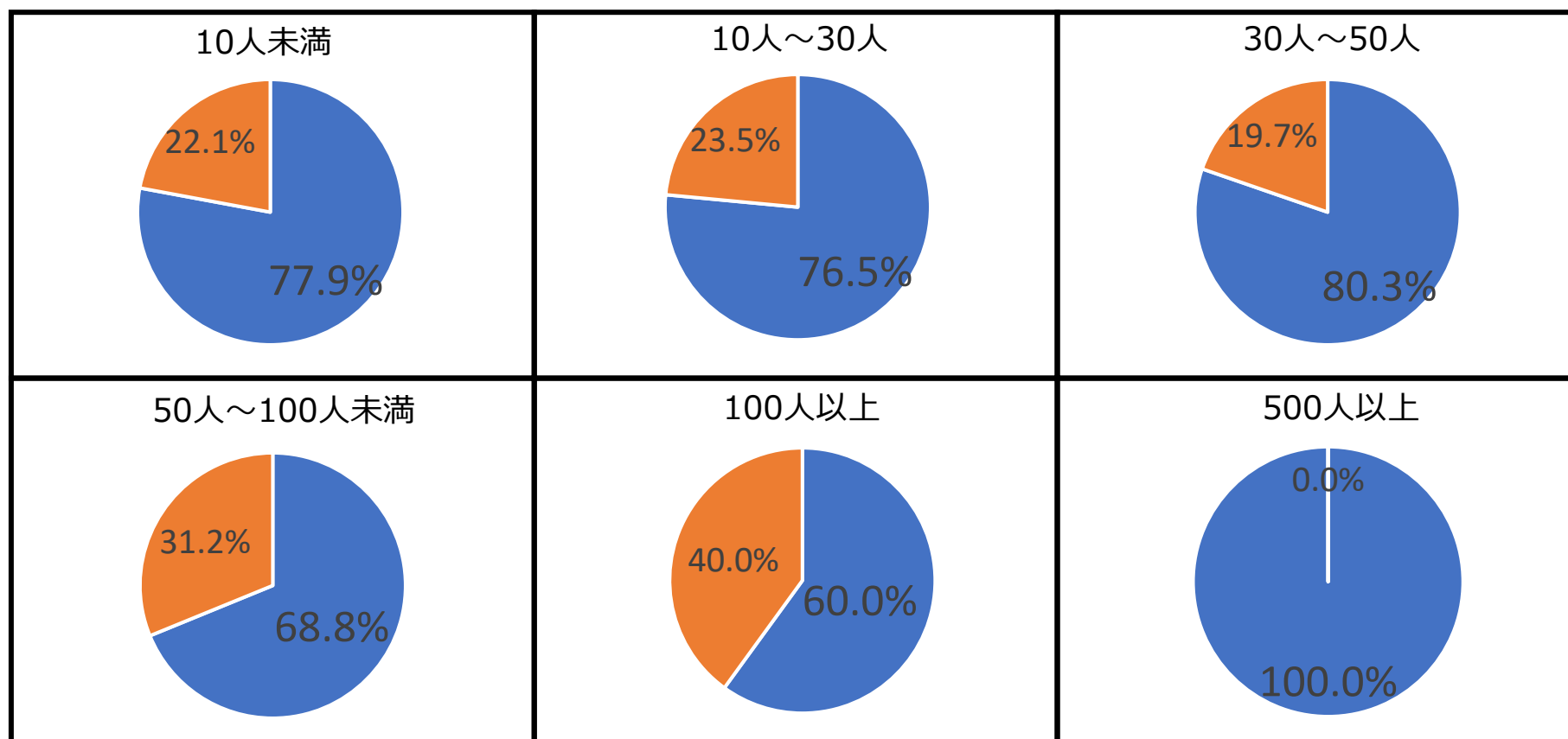
陸上貨物運送事業における労働災害発生状況

荷役作業における安全確保対策の実施状況に関する調査表（平成30年10月1日から平成31年3月31日まで）

死傷病報告データと組み合わせた分析

事業場規模別

すべての事故の型 × 保護帽（着用, 未着用）



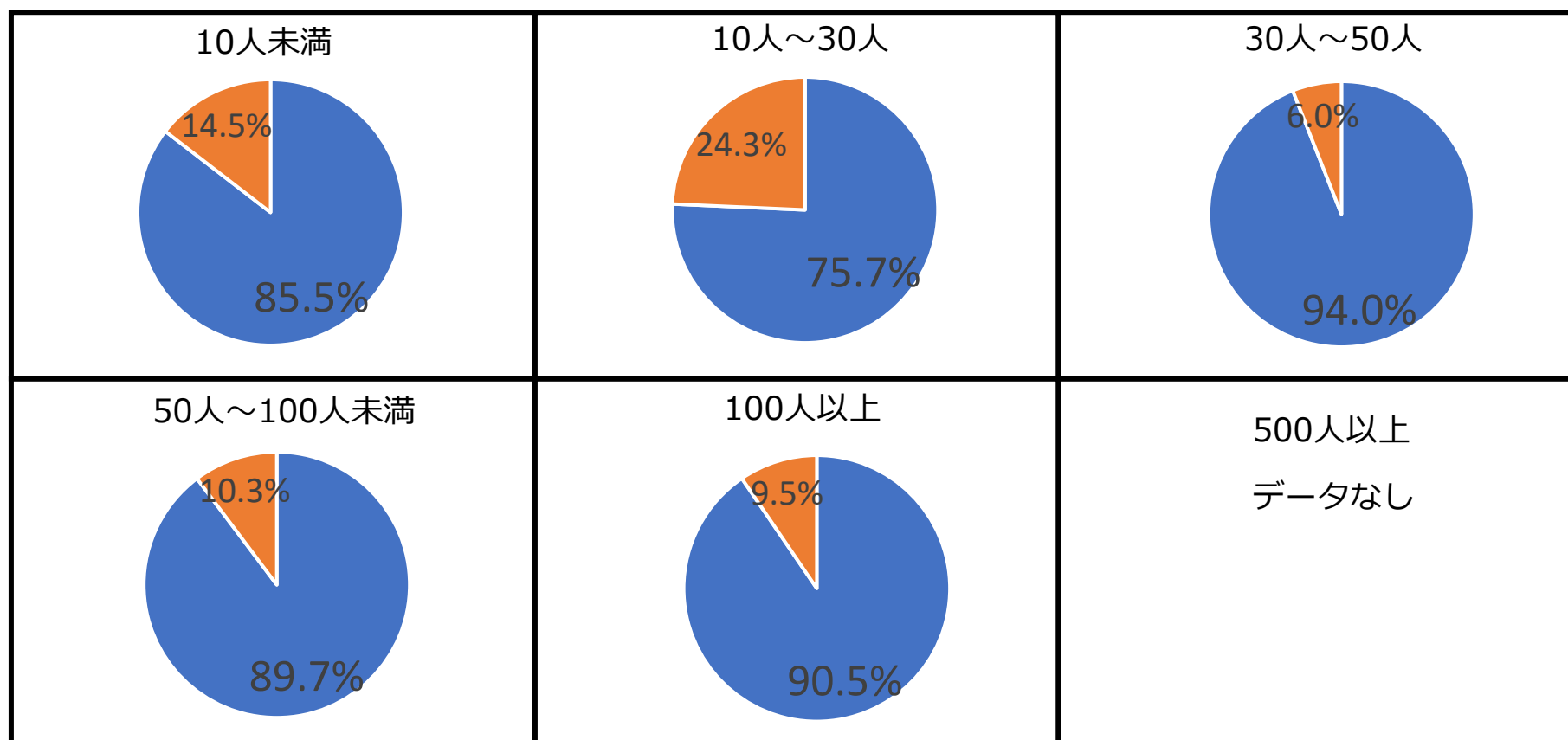
陸上貨物運送事業における労働災害発生状況

荷役作業における安全確保対策の実施状況に関する調査表（平成30年10月1日から平成31年3月31日まで）

死傷病報告データと組み合わせた分析

事業場規模別

事故の型（墜落、転落）354件 × 安全衛生教育の実施〈発生前〉



■ していた ■ していなかった

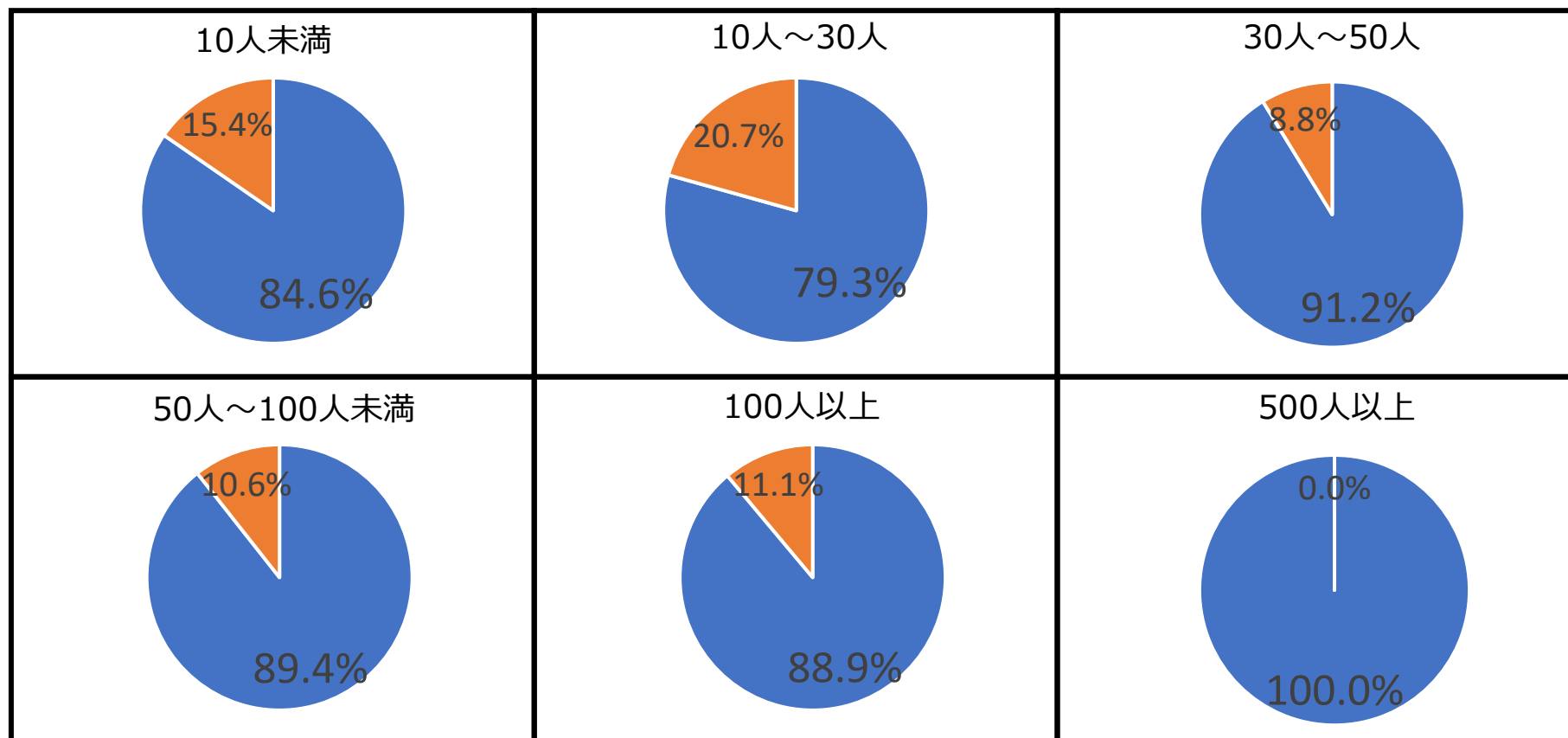
陸上貨物運送事業における労働災害発生状況

荷役作業における安全確保対策の実施状況に関する調査表（平成30年10月1日から平成31年3月31日まで）

死傷病報告データと組み合わせた分析

事業場規模別

すべての事故の型 × 安全衛生教育の実施〈発生前〉



■ していた ■ していなかった

陸上貨物運送事業における労働災害発生状況

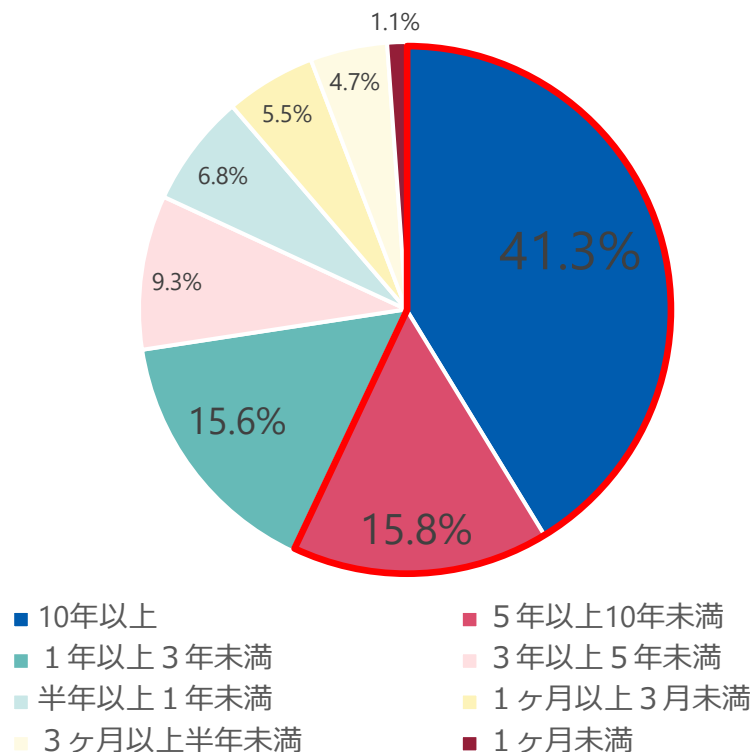
令和2年の死傷者数15,815人のうち、トラックからの墜落・転落災害2,615件の傾向

墜落・転落災害の経験期間

- 墜落・転落災害の被災者は

経験10年以上のベテランがトップ

さらに、被災者の 約60% が経験年数5年以上である

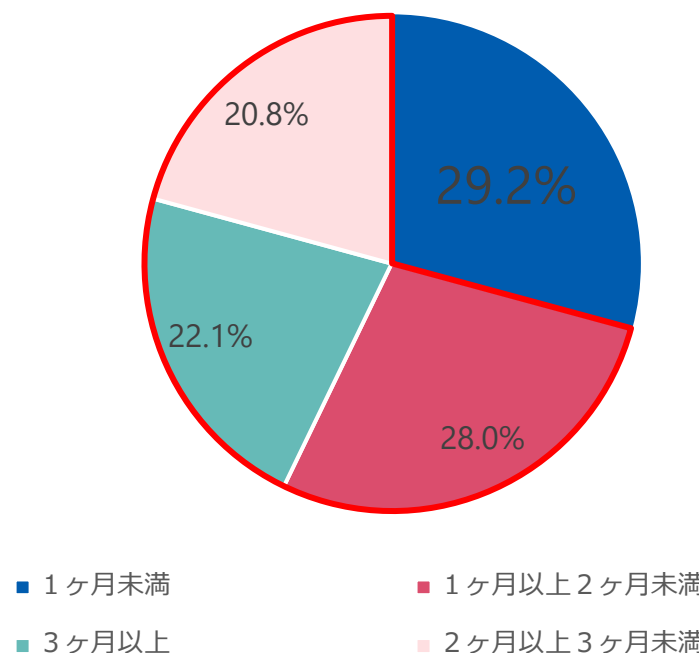


墜落・転落災害の休業見込み

- 墜落・転落災害のうち

休業1ヶ月以上は 約70%

傷病性質は骨折が約70% 重篤災害になる傾向が高い

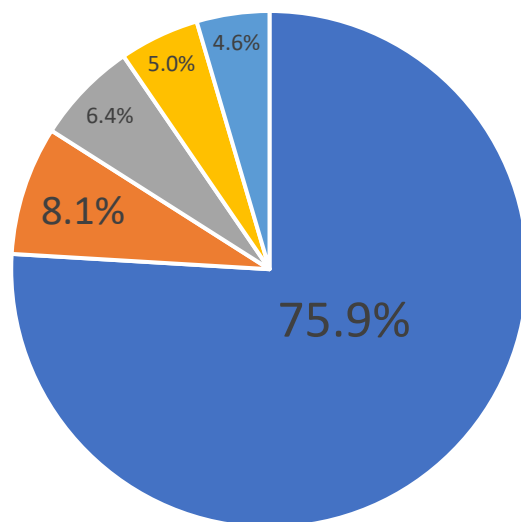


陸上貨物運送事業における労働災害発生状況

令和2年の死傷者数15,815人のうち、トラックからの墜落・転落災害2,615件の傾向

墜落・転落災害の起因物

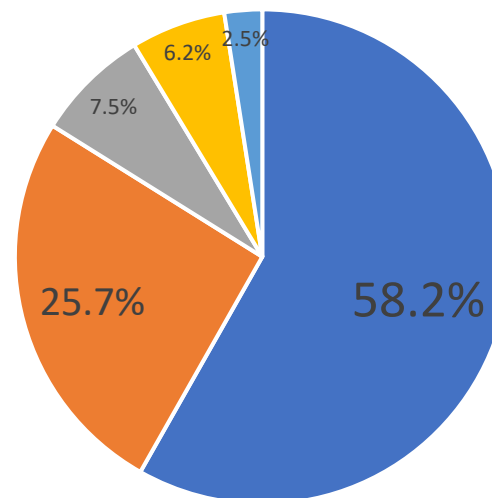
- 墜落・転落災害のうち、荷台（ステップを含む）からの墜落・転落が 約75%



■ 荷台(ステップ含む) ■ その他・不明 ■ あおり
■ 荷物(荷崩れ含む) ■ テールゲートリフト

荷台(ステップ含む)からの墜落・転落の原因

- 滑り（踏み外し含む）が 約60% と最多
荷台からの墜落・転落災害には、ステップ（昇降設備）の踏み外しによるものも含まれている



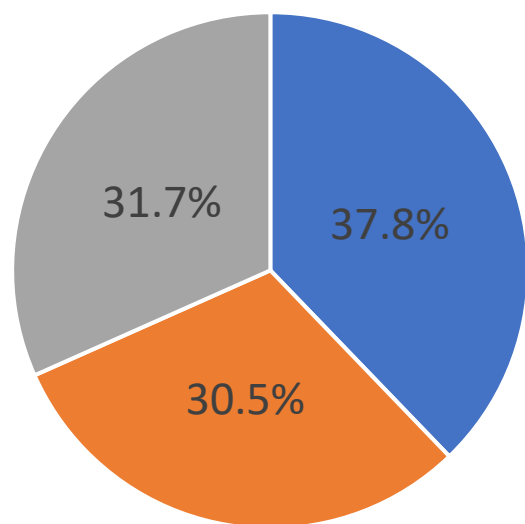
■ 滑り(踏み外し含む) ■ バランス崩した(荷崩れ含む)
■ その他・不明 ■ つまずき
■ 飛ばし降り

陸上貨物運送事業における労働災害発生状況

令和2年の死傷者数15,815人のうち、トラックからの墜落・転落災害2,615件の傾向

荷台(ステップ°含む)からの墜落・転落のうち、
原因が 滑り(踏み外し含む) × 作業内容

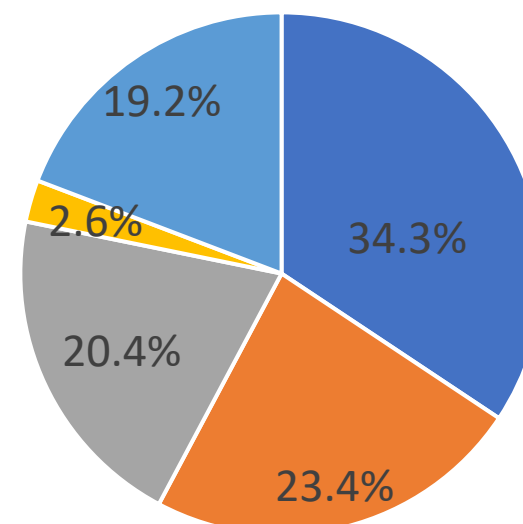
- 「荷物取り下ろし中」の墜落・転落が最多



■ 荷物取り下ろし中 ■ 荷積み込み中 ■ その他・不明

荷台(ステップ°含む)からの墜落・転落のうち、
原因が 滑り(踏み外し含む) × 被災場所

- 「荷主・庭先(着)」における墜落・転落が最多



■ 荷主・庭先(着) ■ 荷主・庭先(発) ■ 自社構内
■ 個人宅(配達中) ■ その他・不明